

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標	
<ul style="list-style-type: none"> ○全職員で「生徒行動目標」を常に意識した学校づくりを目指します。 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒行動目標 <ul style="list-style-type: none"> 授業を大切にする 人の話を聞く 他人に迷惑をかけない ○「社会の一員として求められる力」を意識した取組を実践します。 ○課題への即時的・重点的な対応の為に関係機関との連携を重視します。 	

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野		取組目標	具体的取組
豊かな心		教育活動を通して、他人に迷惑をかけず、よりよく生きていこうとする生徒を育成します。	指針1 さまざまな体験活動の充実 指針2 特別の教科「道徳」の充実 指針3 人権教育の充実

2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

人懐こく素朴である。挨拶をするなどの基本的な生活習慣が身につけていない生徒が多い。自ら進んで何かを行うということが苦手であり、コミュニケーション能力に課題がある。

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

指針1 さまざまな体験活動の充実

・キャリア教育を充実させる。「1年 職業講話」「2年 職場体験・チャレンジ タイム（小中交流）」「3年 進路講話」などを通して、社会の一員として自分の特性を生かそうとする、望ましい職業観を育てる。

【Cの視点】

・ボランティア活動（地域の運動会、祭の手伝い、福祉施設への訪問）に積極的に取り組み、人のために役立つ体験を通して、思いやりの心や社会連帯の意識を高める。【B・Cの視点】

指針2 「道徳の時間」の充実

・特別の教科「道徳」と学校教育全体を通して行う道徳教育の関連を図った指導を行う。
 ・道徳の授業を公開し、家庭や地域との連携を図る。

指針3 人権教育の充実

・人権作文、国際平和スピーチコンテストに取り組む。【A・B・C・Dの視点】
 ・組織的な生徒指導や生徒理解に努め、個々の特性や生徒の実態に応じた指導の工夫に努める。【Cの視点】